

Hitachi Consulting



日立コンサルティング、 Living PlanIT 社と「都市 OS」を基軸とした 次世代都市開発における業務提携で基本合意

株式会社 日立コンサルティング(本社:東京都港区港南、代表取締役 取締役社長:芦邊洋司/以下、日立コンサルティング)および Living PlanIT SA(本社:スイス、CEO:Steve Lewis/以下、Living PlanIT 社)は、日本を始めとしたアジア諸国、及び欧米諸国の次世代都市開発において、Living PlanIT 社の保有する「都市 OS」(UOS™)を基軸として様々なイノベーション事業を推進していくことで基本合意しました。

日立コンサルティングは、戦略やITコンサルティングのノウハウを、日立グループの知見やグローバルパートナー企業の高い都市設計の経験と融合することにより、様々な次世代都市開発プロジェクトの提案活動を行っています。今回、日立コンサルティングは、インターネットの新たな活用方法として事実上の業界標準を目指す「都市 OS」(UOS™)を保有し、世界中のスマートで効率的な都市開発プロジェクトに関わる Living PlanIT 社とパートナーシップを結ぶことで合意しました。日立コンサルティングと Living PlanIT 社は、様々なパートナー企業と形成する「エコシステム」を活用し、世界的な人口の増加と都市化を背景に加速する次世代都市開発の市場において高いプレゼンスの早期確立を目指します。

次世代都市開発においては、環境負荷の低い社会インフラと、住民や企業に対するより便利なサービスを実現するため、都市における多様なデータを補足・一元管理する IT の仕組みが非常に大きいと考えられています。Living PlanIT 社の「都市 OS」(UOS™)は、大規模に張り巡らされたセンサーネットワークを利活用し、建物に設置された様々な機器や、エネルギー、水、ゴミ、教育、交通、医療および様々な双方向のシステムといった社会的インフラを統合的に管理するものです。また同時に、都市における大規模な活動データを一元的に管理し、このデータを利活用して新たな都市マネジメントや、市民向けサービスを実現するアプリケーションの開発を支援します。Living PlanIT 社は、この「都市 OS」(UOS™)の導入を不動産開発業者やテクノロジーパートナーと世界中で推進しており、このたびの世界経済フォーラムにおいて 2012 年度のグローバル・テクノロジー・パイオニアとして選出されました。

このような統合プラットフォームの導入は、デバイス間におけるスムーズでリアルタイムのデータ交換を可能とし、M2M*コミュニケーションの時代における都市の持続的な開発と運営には欠くことのできない要素となります。

日立コンサルティングと Living PlanIT 社は、両社のパートナー企業と共に形成する「エコシステム」を今後更に拡大し、アジア、欧州、北米における次世代都市開発に共に取り組んでいきます。

*M2M(Machine-to-Machine/Machine-to-Management)

機械と機械が相互に通信を行い、人間を介さずに自動的に機器の制御などを行うためのコンセプト、または、それを実現するための技術、サービスの総称

株式会社 日立コンサルティングとは <http://www.hitachiconsulting.co.jp/>

日立製作所 情報・通信カンパニーの完全子会社であり、世界各拠点において 4,000 人規模で展開する日立コンサルティンググループにおける中核企業。

企業や行政機関に対する戦略や IT コンサルティングを通じて培ったプロジェクトマネジメント、ソリューション・事業開発などの力と幅広いネットワークを活用し、次世代都市開発やイノベーションの創出を支援。

Living PlanIT SA とは <http://living-planit.com/>

Living PlanIT SA は、都市開発における持続的かつ創造的なテクノロジーを開発する IT 企業。

都市生活の向上に欠かせない技術イノベーションを創造し、それらのソリューションを世界中に展開するために、企業や大学等との幅広いパートナーシップを形成。

本件に関する報道関係お問い合わせ先

株式会社 日立コンサルティング
マーケティング&コミュニケーション部 担当: 貫(ぬき) / 荒井
TEL: 03-5715-5535 / e-mail: info@hitachiconsulting.co.jp